


ヤマケイ登山教室


講師

ヤマケイ登山教室

1990年に山と溪谷社創立60周年を機にスタートした、ヤマケイ北アルプス登山教室が、年々進化して、「ヤマケイ登山教室」となりました。今年で25年目を迎え、のべ参加者は約3万人です。最近では、若い女性の参加者も増えてきております。アットホームでよかったこととおっしゃっていただけることも多くなりました。



平田 謙一
(ひらた けんいち)
山の基礎を学ぶ「初歩から楽しむ山歩き」担当。ガイドブックなど多くの著書がある。㊸



石丸 哲也
(いしまる てつや)
ゆっくり花を愛で、自然に浸って歩く山岳ライター。近著は「週末の山登りベスト120」。㊸



佐々木 亨
(ささき とおる)
「学べる!山歩きの地図読み」も刊行。わかりやすい地図読み指導に定評がある。山岳ライター。㊸




猪熊 隆之
(いのくま たかゆき)
山岳気象予報専門会社ヤマテン代表。山の天気を解説し安全登山の啓発につなげたい。㊸



菅野 由起子
(かんの ゆきこ)
少数派の女性登山ガイドとして人気があり、レディース・ストレッキングを担当。㊸㊹




恩田 真砂美
(おんだ まさみ)
海外の山々を巡り、岩や氷、縦走と多様な登山を楽しむ。登山ガイド・ヨガインストラクター。㊸



阿波 徹
(あわ とおる)
安心感の土台はバフフルで実直なこと。北海道の山とスキーはとくに詳しい。㊸㊹




武川 俊二
(たけかわ しんじ)
大柄で朗らかな雰囲気は周囲をなごませる。山岳スキルアップ講座担当講師。㊸㊹



菊池 哲男
(きくち てつお)
山の星月夜をこよなく愛する山岳フォトグラファー。山と溪谷社からも写真集を2冊出版。㊸



中西 俊明
(なかにし としあき)
北アルプスから房総まで幅広いエリアで活躍する山岳写真家。「山岳写真大全」著者。㊸



恵 秀彦
(いせ ひでひこ)
山岳、海洋などでの救助活動、ファーストエイドの普及に努める。日本山岳協会遭難対策委員。㊸




野村 仁
(のむら にし)
登山技術や山岳遭難関係での多数の執筆を通じて、遭難防止の啓発活動を長年継続。㊸



笹原 芳樹
(ささはら よしき)
カモシカスポーツの社員を経て店長に。業務上、登山用具の最新事情に精通し、登山界に情報を発信している。㊸

日本の山

講師 & ツアーリーダー



荻原 次晴
(おぎわら かつはる)
元オリンピック選手でスポーツキャスター。次晴「登山部」で百名山を登るプロジェクトを進行中。㊸



橋本 ワコ
(はしもと わこ)
山でも美しく、元気にモットーに、女性が輝いて見えるコツを教えるスポーツビューティーアドバイザー。㊸



秋山 和正
(あきやま かずまさ)
SIA プロスキー教師で登山経験も豊富。富城蔵王自然学校では野外教育にも従事。㊸㊹



岩崎 武夫
(いわざき たけお)
丹沢で山を始め以前はクライミングに精を出す。冬はニセコでスキーインストラクター。㊸



高妻 潤一郎
(たけつま じゆんいちろう)
夏は北岳「白根御池小屋」に常駐。冬は国内外のツアーリーダーとして活動中。㊸㊹



田中 幹也
(たなか かんや)
テント泊での縦走など、より山と密着するコースで、頼りがいのあるリーダーぶり好評。㊸



中島 政男
(なかじま まさお)
国際山岳ガイドとして夏はシャモニに滞在、冬は日本でアルパインツアーの雪山講習会のガイドを務める。㊸㊹



橋尾 歌子
(はしお うたこ)
本職はイラストレーターだが、積雪期の岩壁登攀やチベット遠征などの経験もあるクライマー。㊸



宮城 龍一郎
(みやぎ りゆういちろう)
「気は優しく力持ち」を地でいく山男だが、繊細さもあわせ持つ。長野県朝日村在住。㊸㊹



村山 貴司
(むらやま たかお)
気象予報士で山のベテラン。空を仰ぎ現場で語る山岳気象は実にわかりやすい。㊸



山田 芳男
(やまだ よしお)
往年のクライマーでプロの料理人。絶品の山のスープとユーモアでなごやかに。㊸㊹



渡辺 幸雄
(わたなべ ゆきお)
プロの山岳写真家で、アルペンガイド「箱・穂高」(山と溪谷社)の著者でもある。㊸㊹



鈴木 拓馬
(すずき たくま)
山では100リットルの大型ザックを背負い、ツアーをサポートする。好きな山は剣岳。㊸



渡邊 元嗣
(わたなべ もとつぐ)
オールラウンドなリーダーを目指して勇躍遠征。温泉と沢とテレマークが好き。㊸㊹



梶山 太郎
(かじやま たらう)
日本の山の業務全般から海外まで担当。九州出身の山男。第二の故郷は仙台。㊸㊹



児玉 康
(こたけ やすし)
国内チームのリーダーであり企画、達成、運行から対策まで一手に引き受ける。好きな山は、富士山。㊸㊹

山へ行こうよ、日本の山

「美しい日本の山々、再発見の旅」を合言葉にしています。北海道から九州まで、有名山岳から地域の名山や離島の山まで、大人数でなく、仲間意識をしっかりともちた山のグループとしての登山を心がけています。大層バスで名所を巡り、ホテルに入れば皆他人、といった観光旅行では味わえない、山旅ならではの魅力を感じてください。

注) ㊸=旅程管理主任者 ㊹=日本山岳ガイド協会認定ガイド

